

材料環境部 久間俊平、帆秋圭司、矢野昌之、田栗有樹

## 概要

未利用地域資源に含有されるバイオマス由来の材料を活用して、低環境負荷の木材用水性塗料を開発する研究です。

## ◇ 木材用塗料のニーズ

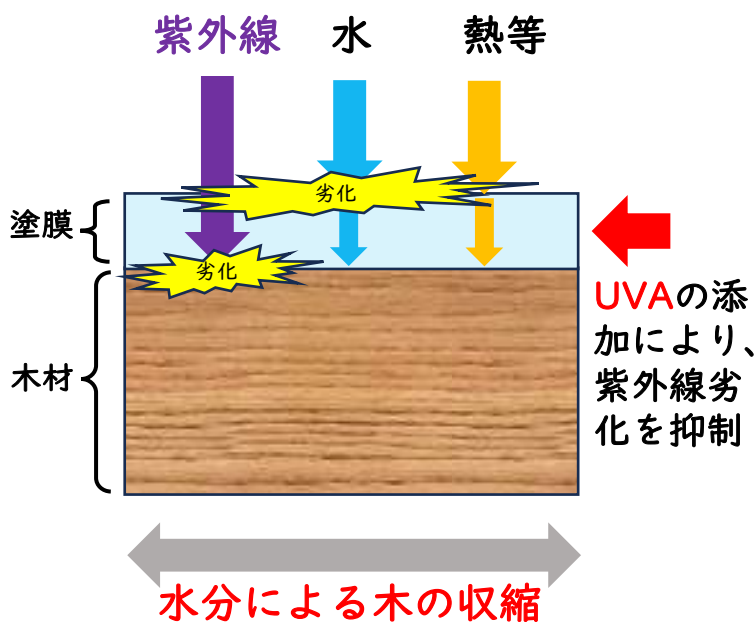
- ・ 低環境負荷(水性)
- ・ 木質感を失わない(クリア塗料)

## ◇ 水性クリア塗料の課題

- ・ 耐候性が低い  
(紫外線が塗膜を透過する  
→木材自体も劣化)

紫外線吸収剤(UVA)による耐候性向上を検討

## ○ 木材の耐候劣化メカニズム



## ○ 撥水性に優れるシリコンを樹脂成分とした水性塗料へ、

- ・ トリアジン系化合物(UVA)
- ・ 竹由来セルロースナノファイバー(光散乱剤)

を添加することで、高い変色抑制効果を示すことを確認した。

## ○ いっそうの環境負荷低減のため、バイオマス由来材料のUVA適正について検討中。

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 材料環境部 0952-30-8163

